

助成活動実績報告書

企画名	里山再生プロジェクト
団体名	あかいわ美土里の和
<p>①活動の目的について</p> <p>「赤磐市の自然環境を永続的に保持し、人と自然とが共存する循環型のまちづくり」を理念に生物多様性を維持する里山づくりをみんなで協力して活動することを目的とする。</p> <p>②内容について（学習会、集会などは開催日や内容、参加者数など。設備・物品購入などの発注、納品、竣工、支払いなどの案件に関わる事実の掲載）</p> <p>※ 4月17日（日）「磐山ハイキング」（一般公募事業）参加者8名 午前10時頃まで雨の為参加者が少なかった。</p> <p>※ 5月15日（日）5月定例里山整備実施（会員事業）参加者9名 今年度最初の下草刈りを磐山C登山口と観音山登山口周辺で実施した。</p> <p>※ 6月19日（日）「いっしょにけんこう茶をつくりましょう」（一般公募事業）雨天のため中止 同日夜予定の夏至の夕日とヘイケボタル鑑賞会も中止となった。2日後の夏至の当日会員6名が陰陽石に沈む夕日を鑑賞した。</p> <p>※ 10月29日（土）30日（日）桜が丘いきいき交流センター第12回文化祭 参加者多数 行事等活動報告を写真パネルで展示、ワークショップではドングリ遊び、リーフクラフト、リーフ押絵を実施。多くの市民に里山の意義と楽しさをアピールした。</p> <p>◎その他日常活動</p> <p>★現地での一般公募事業実施の前に下草刈り、下枝処理等安全対策を実施。参加者平均6名/回 ★毎月第3火曜日に定例会議を実施。参加者平均12名/回（以上、助成金活用に係る活動）</p> <p>◎自然観察会について</p> <p>「赤磐市の生物多様性地域戦略の基礎となる赤磐市生物目録作成」協力依頼があり、大学教授等専門家が調査をあかいわ美土里の和有志が事務局を担当する赤磐市野生動植物調査会を立ち上げたので、自然観察会は調査会と合同で実施した。</p> <p>*5月里山自然観察会参加者59名 *7月樹木図鑑をつくろう参加者72名 *10月参加者45名（以上磐山にて実施） *7月淡水魚調査「めざせ！魚とり名人」参加者85名（旧熊山町可真川）</p> <p>◎当会の助成対象外活動（他の助成対象活動&他団体主催行事）</p> <p>★6月以降毎月第3日曜日に会員を中心とした定例里山整備を実施した。 ★7月17日（日）「ホームグランドクリーン作戦2016」（一般公募事業）を実施した。 ★8月20日（土）21日（日）「里山で木彫りワークショップ」（一般公募事業）を実施した。 ★11月13日（日）「ツリークライミング体験教室2016」（一般公募事業）を実施した。 ★2017年1月22日（日）「ホタルよみがえり作戦2016」（一般公募事業）を実施した。 ★2017年1月元旦 地元町内会役員会主催「磐山で初日の出を見る会」に参加、協力。</p>	

③この活動によって達成された成果

※里山整備作業によって達成された成果

継続的な活動により人と自然とが共存する環境が整備され市民の憩いの場となりつつある。

(例：磐山ハイキングコース整備、ヘイケボタル鑑賞道整備、遺跡周辺整備)

◎整備作業により以下のイベント開催の成果がある。

★山野草を食するイベントを開催：「自然から恵みをいただく」という里山の原点を見直す活動の一つとして効果が上がっている。

★県の許可を得て観音山山頂近くに約 100 坪の広場を整備、「森の美術館」「森のコンサートホール」として活用できるようになった。

★ツリークライミング体験広場が新設され利便性が増した。(例：待機時間に他のイベントと併用できる。今年は子供の料理教室を開催、カレーを作った。)

◎以上の結果、※里山整備にも親子での参加が増えた。

※農業のバックヤードとしての里山から現在の生活スタイルに適した里山の在り方が見えてきた。

※赤磐市桜が丘いきいき交流センター文化祭参加によって達成された成果

4 度目の参加で、リピーターが多くあり活動アピールに効果があった。

④今後の計画・展望について

※今後の計画

活動に継続性を持たせ、その中で新しい息吹を吹き込んでいく。具体的には、

- ① 一般公募による年 2 回の里山整備作業の継続
- ② 会員による月 1 回 (第 3 日曜日) の里山整備作業
- ③ 磐山でのワークショップ及び展示会場・シンポジウムの継続開催
- ④ 町内会や他団体との交流を深める
- ⑤ 自然観察会の継続 (赤磐市野生動植物調査会と協力して行う)

※展望について

- ① 里山整備作業に親子での参加が増え、自然の重要性と楽しさの認知度が高まっている。子どもの多くは 3 歳から 10 歳で「ふるさと愛」が身につくものと確信する。同時に若い親御さんの力が自然を守る力となっている。
- ② 地域との連携が拡大している。
- ③ ホームページを見て市外からイベントに参加する人が増えている。
- ④ 赤磐市野生動植物調査会の活動が本格化し、多くの市民が自然に触れる機会が増えてきた。
- ⑤ 市の農林課から「第 29 回森林レクリエーション地域美化活動コンクール」に赤磐市を代表して推薦された。

◎このように地域住民が森林に親しみ、里山を大切に守る機運が高まりつつあり、行政からも信頼されるようになっている。特に子どもとその若いファミリーと保育士の参加で若返り、将来の展望が明るいと思っている。

「赤磐市野生動植物調査」が発足した経過もあり活動が信頼されていると思われるので、活動に広がりを持たすことができていると思っている。

⑤写真等参考資料添付（事業により購入した設備・物品等や会議開催の様子など、活動内容が伝わる写真等を添付してください。デジタルカメラの場合、データもご提出（メール送信）ください。）

①「磐山ハイキング」4月17日（日） 今年のツツジは早くピークを過ぎていました。



観音山山頂付近



例年ならこの辺りはツツジが咲き乱れているのですが…



②5月定例里山整備作業 5月15日（日）



磐山C登山口周辺作業前

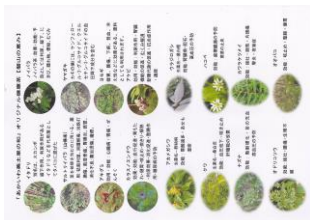


作業後



観音山登山口周辺 作業後

③ いっしょにけんこう茶をつくりましょう 6月19日（日） 雨天中止となりました



お茶と天ぷらの材料表を作成し、当日採取予定でした



同日予定の観音山頂上の陰陽石スリットに夕日が沈むのを見る会も中止となりました。2日後の夏至の日に会員で鑑賞しました

右は2015年の夏至の夕日



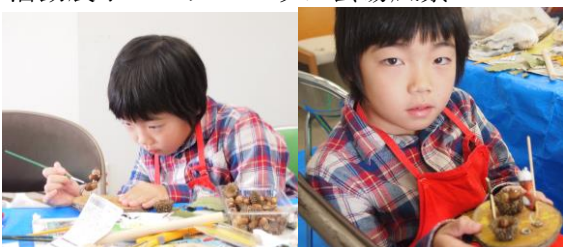
④ 赤磐市桜が丘いきいき交流センター文化祭 10月29日（土）・30日（日）



活動展示ワークショップ会場風景



リーフクラフトに挑戦 完成品です！



ドングリ遊び真剣な眼差し、完成です！



親子でドングリ遊び



ドングリ遊び完成品